

WG	第4回	日時	令和3年5月31日(火) 10:00~11:30
場所	リモート	参加者	

## 令和2年度 課題③「福井市の「ことばの教室」が市から社協に委託しての事業になったことで、担当業務(対象や活動)が不明確となっている。」について

### 内容

ことばの教室の運営が「福井市直接」から「委託」になったことで、ことばの教室の先生の対応に変化があった。その中でことばの教室終了後のフォロー体制を検討する必要がある。

### 意見

- ・福井市子ども家庭センター相談室(アオッサ内)で対応可能。
- ・保護者は単発ではなく、継続した相談できる場所を求めているので、そのような体制構築が必要。
- ・はぐくむ book の活用。はぐくむ book には多くの情報が掲載され、相談窓口や福祉事業などが網羅されている。ふくいっ子ファイルの説明も掲載している。
- ・このような課題については部会で構築していくというより、行政の仕組みとして考えていくことが必要。福井市では現在定期的に子育て支援課と健康管理センターと子ども福祉課が会議を行っており、今後はそこに障がい福祉課も入っていく予定。その中で、検討していくことも可能。
- ・行政としての仕組みも大事だが、担当者の育成(研修など)も大事。事業所は支援の質は死活問題なので、事業所内で研修などを行っているところも多いが、行政は職員ということで、対応することになる。ABA や TEACCH、PECS などの基礎知識は持っていてほしい。

## 令和2年度 課題④「支援を受ける場所が変わっても必要な支援が継続されることが必要。特性に応じた支援方法について支援者が知ることが必要。」について

### 内容

ふくいっ子ファイルは障がいのある子どもにだけ活用するものではなく、子育て支援や母子保健の中でも活用できるものとして活用する。そのため、部会として意見を集約したものを県の担当者と協議する。

### 意見

- ・アセスメントの部分が強調されているので、敷居が高い。相談歴をつけていくことが大事。
- ・相談歴だけを取り出して、母子手帳やはぐくむ book などに別紙として付けられないか。
- ・保護者も多くの書類を保管しなければならないので、管理しやすい方法がないか。
- ・県としては3歳児健診時に配布する予算をつけているようなので確認が必要。

### 課題③・④のまとめ

- ・各課題において、健康管理センター+子育て支援課+子ども福祉課+障がい福祉課による会議での進捗状況について、障がい福祉課から部会へフィードバックする。(今年度の第3回又は第4回のこども部会にて一定の報告を行う。)
- ・上記状況により、課題③・④について、部会にて終了報告を行う。